

ルワンダ月報（2020年6月）

主な出来事

外政

● 3日、カガメ大統領の第1回アフリカ・カリブ・太平洋諸国（ACP）オンライン臨時サミットへの出席

経済

● 23日、2020/21年度国家予算の成立

その他

● 6日、教育省、世界銀行による22,505教室の増設プロジェクト開始

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダの英字日刊紙 The New Times の記事のとりまとめ。

外政

（1）カガメ大統領第1回アフリカ・カリブ・太平洋諸国（ACP）オンライン臨時サミットへの出席（4日）

3日、ACPオンライン臨時サミットが、ケニヤッタ・ケニア大統領議長の下開催された。同総会には、テドロスWHO事務局長も出席した。カガメ大統領は、新型コロナウイルス禍におけるスーダンとジンバブエに対する制裁の見直しを求めた。また、新型コロナウイルスの終息及び経済の復興に向けたACP諸国間の緊密な連携及び治療、ワクチン、医薬品の公平な確保を呼びかけた。同大統領は、EUとの連携の重要性、WHO支持の継続を表明した。

（2）カガメ大統領の中国・アフリカ団結新型コロナ對抗特別サミットの出席（18日）

17日、カガメ大統領は、中国・アフリカ団結新型コロナ對抗特別オンライン・サミットに出席した。同サミットは、中国アフリカ協力フォーラム（FOCAC）の臨時会合であり、周中国国家主席、ラマポーザ南アフリカ大統領及びサル・セネガル大統領が共同議長を務めた。

経済

（1）2020/21年度国家予算の成立（23日）

23日、2020/21年度の国家予算が約3兆2,000億ルワンダ・フランで成立した。同予算の運用は、今後2、3年間の経済再建計画及び7年変革戦略（Seven year transformation strategy）に沿ってなされる。新型コロナウイルスの影響による税収の減少が見込まれており、ンダギジマナ財務・経済計画大臣は、新

型ウイルスによる経済的影響に対応するため、中期的に国外からの借入れを増加させると説明した。予算の約40%が開発計画に支出される予定。その他、新型コロナウイルスの影響を受けたルワンダ航空や中小企業への支援に加え、国内産業の推進（Made-in-Rwanda）、雇用創出、農業改善、社会保障、保健や教育に関する施策が予算に盛り込まれた。

その他

（1）教育省による22,505教室の増設プロジェクト開始（6日）

6日、教育省は、国内30地区の学校における22,505教室の増設プロジェクトを開始した。政府は、新型コロナウイルス感染の影響を受け、これまで1月に開始されてきた新学年度の開始時期を9月に移行しており、9月までの増設完成を目指す。ウマリヤ教育大臣によると、教室の増設により、学校再開後の教室内の混雑を緩和し、新型コロナウイルス感染拡大を防止する。同プロジェクトに関し、ルワンダ政府が約9,400万米ドル、世界銀行が2億米ドルを支出する。

（了）